

小川町子ども子育て拠点施設整備事業

—No.47 小川町—

【事業の目的】

地域における子供・子育て支援の拠点施設を整備します。本施設の周知・PR活動や実際の利活用により積極的に子育て世帯の不安を解消することで、出生数の増加や子育て世帯の転出超過傾向の改善、移住・定住の促進に寄与することを目的としています。

【事業の内容】

- 妊娠前から子育て期まで切れ目のないワンストップ支援事業
子ども子育てコンシェルジュの配置などにより、幅広い事業案内や利用者の誘導を図ります。
- 利用者交流空間創出事業
飲食可能な空間を整備し、お互いのストレス軽減を図る癒しの場、不安解消の場としての活用を図ります。
- 各種教室・講座事業
郷土料理教室や食育・栄養指導、昔遊び伝承教室やじじ・ばば教室等の多世代交流事業等を開催します。
- 福祉避難所機能整備事業
有事における乳幼児がいる子育て世帯の避難所として活用を図ります。
- その他
短時間一時預かり事業や貧困対策事業として、学習指導教室（アスポート）・子ども食堂などの開設を予定しています。

【事業年度】

平成 28 年度から平成 29 年度（2 か年）

【予算額(千円)】

183,267千円（平成 28 年度～平成 29 年度）

うち 174,529千円（平成 29 年度）

このほか、国の補助金を活用した太陽光発電施設の設置等を予定しています。

【財源】

地方創生拠点整備交付金（国）、補正予算債、一般財源（町）

【事業実施に至った背景・経緯】

総務省による人口動態調査において、当町は全国で最も人口減少数の多い町村として公表され、強い危機感を抱きました。

そこで、若い世代の転出増加、児童・生徒数の減少を課題とし、解決に向け取り組むこととしました。

【事業のPRポイント】

- 点在する施設、事業、職員を中心拠点に集約し、地域における子供・子育て支援の拠点とすることで、妊娠前から子育て期までの切れ目のない、誰もが利用しやすいワンストップの支援体制を整備します。
- 相談体制の充実、町内医療機関との連携、全国的にも知名度の高い地元有機無農薬食材との効果的コラボなどにより、オリジナリティあふれる施設整備を目指します。

【事業実績・成果・今後の展開】

町総合戦略の基本目標「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる〈結婚・出産・子育て〉」に基づき、未来への投資という観点から子育て支援の環境整備に重点的に取り組むことにより、出生数の増加や子育て世帯の減少抑制を実現します。

将来的には町総合振興計画の基本理念の一つである「未来につなぐまちづくり」を目指し、平成30年4月オープンを予定しています。

【参考資料】

[小川町まち・ひと・しごと創生総合戦略](#)（小川町ホームページを御覧ください）

〔 連絡先 〕

子育て支援課 子育て支援担当 0493(72)1221(内線191)